



F コマンド

この章では、F で始まる Cisco NX-OS Open Shortest Path First (OSPF) コマンドについて説明します。

feature ospf

OSPF（Open Shortest Path First）プロトコルをイネーブルにするには、**feature ospf** コマンドを使用します。OSPF をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature ospf

no feature ospf

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

OSPF を設定する前に、OSPF 機能をイネーブルにする必要があります。



(注)

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) では、レイヤ 3 機能がイネーブルになっている Cisco Nexus 5548 スイッチおよび Cisco Nexus 5596 でのソフトウェア アップグレードは中断されます。スイッチと Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダをリロードする必要があります。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature ospf
switch(config)#
```

次に、OSPF 機能をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature ospf
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
router ospf	OSPF インスタンスを作成します。
show feature	スイッチの機能のステータスを表示します。
show ospf	OSPF 構成情報を表示します。

flush-routes (OSPF)

Open Shortest Path First (OSPF) プロトコルの再起動でルートをフラッシュするには、**flush-routes** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

flush-routes

no flush-routes

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

ルータ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、OSPF は、OSPF がシャットダウンするとき、ユニキャスト RIB から登録解除されます。ユニキャスト RIB は、この OSPF インスタンスに関連付けられたすべてのルートを削除します。**flush-routes** コマンドを設定しない場合、OSPF は登録解除されず、OSPF ルートは古くなります。OSPF ルートは、タイムアウト期間後、最終的にユニキャスト RIB から削除されます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF の再起動でルートをフラッシュする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# router ospf 202
switch(config-router)# flush-routes
switch(config-router)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip ospf	OSPF 情報を表示します。

